承認	会　長	研究会長		事務局長

議 事 録

第２回観光研究会（視察研修）を開催しましたのでその内容を報告致します。

令和元年１２月１６日
松阪市自治会連合会 事務局

日　時	令和元年１２月１１日（水） ９：００～１５：００	場　所	松阪市市民活動センター　会議室
参加者	観光研究会：山本、岡本、世木、丸川、粉川　以上５名 連合会役員：水谷会長、中島、豊住　以上３名 和氣嬉野ふるさと会館館長（案内役）　事務局１名　計１１名		

※嬉野地域の史跡等（観光資源）の視察研修を別添行程表により実施した。

Ⅰ．会長挨拶

〇観光研究会　山本会長より挨拶。

・現地（観光資源）を実際に見て、発信（松阪再発見）することを目的としている視察研修なので有意義なものにしていただきたい。

Ⅱ．視察研修の行程

１．なめり湖（ここで、今回行けなかった宇気比神社の屋根構造(流れ造り)等についても説明)

・この湖（池）は、南部用水のため池として造られた。
・周遊道路も整備されていて、春の桜は有名であり、秋の紅葉も楽しんでいただける。
・この湖（池）の奥には、日川平家六代（清盛の孫/落ち武者）の墓もある。

２．上尾土古墳群

・現在でもまだ、人が何人か入れるほどの大きな土古墳群（６基中２基）が残っている。

３．天白遺跡

・この地は、祈りの場所であったとのことである。

４．八田城跡

・遺構保存状態もよく、深い堀切、高低差のある土塁など主郭周りの遺構群は素晴らしい状態で整備されている山城跡である。

５．忘れ井の里

・斎王にゆかりの「忘れ井」（みそぎの場所）跡がある。
・町並みには、さまざま蔵飾り等の装飾瓦が見かけられた。

６．東畑精一邸（総栂材造り）を車窓から説明（資料参照）

７．嬉野ふるさと会館（嬉野考古館）

・別添資料により説明（レプリカの展示物が多く、少し残念であった。）
・その中で、釜生田辻垣内瓦窯跡群から出土した鴟尾（国重要文化財）は、その時代においては最大級のもの（本物）との説明があった。

以上